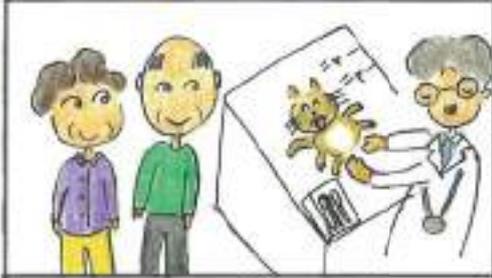


ほっけもん

246 子ねこ



『デッドヒート』

今月の表紙

11月12日(日)に開催された『第44回分館対抗駅伝競走大会』ですが、今年の大会は一味違いました。大丸・大崎・菱田がトップを争い、最後には大崎・菱田の一騎打ち状態。ゴールタイムの差はわずか0.01秒。テレビで見ると汗握る熱い展開でした。

(平成29年11月12日撮影・13ページに関連記事)

薩摩郷句 兼題『勝手』

拉致核ち 北朝鮮は勝手を 仕放題しつ

(唱) 破れかぶれで 世界い歯向つ

上窪 小絵

勝手飲め 耳の無亭主い 匙す投げつ

(唱) 病氣いなるが 貴方が事じゃつ

北村 虎王

三歳児と 勝手な爺様 良か勝負

(唱) どっちもどっち 叩つもならじ

諸木 美舟

進次郎が 安倍ん勝手に 吠え掛かつ

(唱) 貴方しか居らん 頑張つた申し

二見愚楽満

仕事途中 加勢あ勝手に ひん帰つ

(唱) んだもしたん 誰もはでけん

西ノ園ひらり

大崎短歌会 兼題『秋の七草』

ふたたびの 台風ようやく おさまりて

二三歩の蕎麦 蜂が群がる

長重 悦子

さらさらと 葉すれの音も さわやかに

葦の群生 河川敷占む

坂元つる子

試みに 植えしエゴマに 蜂あまた

真白き花に 群がりており

穂園 芳江

そらんじて おりたる笹の はるあきの

七草の名を 口籠もるのみ

原田 葉子

いざよいの 月にうかれて すすき穂は

となりの空家に 招くがごとく

児玉 チヅ

大崎俳句会

分けつと いふ底力 稲の花

宮下 のし

秋雨止み 枝に真珠の つらなりぬ

宮脇 洋子

名月の 雲間に出でて 煌けり

桑原 正樹

苦瓜の 真紅にうれて 落ちてをり

坂元つる子

廢線の 土手にはびこる 泡立草

三浦 倫子

秋深し あれくれもらふ 佐賀土産

内村美恵子

人権啓発シリーズ

ハンセン病と人権 ~同じ過ちを繰り返さないために~

●知っていますか? 悲しい歴史を学び語りつなごう

治療法が見つからなかったことや間違った知識から、ハンセン病は感染しやすい、というイメージが広まり、差別や偏見が強まりました。ハンセン病と診断された方々は、療養所から出ることや家族と一緒に暮らすこと、子どもを産むことさえも許されませんでした。平成8年の『らい予防法』廃止まで、長年にわたりこの隔離政策が続き、ハンセン病は『怖い病気』として定着していました。ご本人だけでなく、ご家族も偏見や差別を受け、かけがえのない人生が奪われました。

●正しい知識を ハンセン病について正しく学ぼう

ハンセン病は、『らい菌』に感染することで起こります。発病には個人の免疫力や衛生状態、栄養事情が関係し、たとえ感染しても発病はまれです。また、遺伝病ではないため、患者の子や孫に遺伝することはありません。ハンセン病は、早期発見・治療で完治します。昭和24年頃には、特效薬で完治する病気になりました。手足のまひや変形は、診断や治療が遅れたことによる後遺症です。